

平成 24 年度 木育マイスター育成研修 委託業務

業 務 実 施 報 告 書

も く じ

- 事業概要 -----2
- 事業スケジュール -----3
- プログラムの作成
 - プログラム作成-----4
 - 研修日程の設定-----4
 - 現地情報の収集-----7
 - 受講生の募集と選定方法-----7
- 研修会の実施
 - 十勝会場-----8
 - 道南会場-----12
- O J T の実施 -----15
- まとめ -----22
- 添付資料 -----23
 - ①広報チラシ
 - ②OJT 自己評価シート
 - ③アンケート集計



事業概要

当事業は、「木育」の理念を十分に理解し、民間における「木育」活動の企画立案や全体的なコーディネートができ、地域において指導的な役割を果たすことができる人材を育成することを目的に、木育マイスター育成研修を行うものである。

木育マイスター育成研修のカリキュラムは6つに分かれており、①木育の理念、②森づくりの仕事や樹木などの基礎知識、③暮らしと産業の関わり、④人の成長過程における木の存在や癒し効果、⑤木育プログラムにおける伝える技術、⑥木育プログラムの考え方と企画の仕方である。

十勝地域と道南地域を会場とし、各会場で1泊2日の講座を前半(8、9月)と後半(10月)の2回行った。OJTは、前半と後半の講座の間(9月中旬から11月中旬)に行った。

当カリキュラムを修了すると、「木育マイスター」として北海道に認定され、木育に関する活動機会には指導者として活躍することが期待されている。平成24年度の第3期生として39名の木育マイスターが誕生した。

・本事業における業務

1)受講者の募集

道内の木育の実践者や木育関連団体への広報を行う。

メディアリリースなどで広く一般からも参加者を募る。

2)研修会の開催

「木育達人入門」をテキストとし、室内講義と実習においてテキスト内容を全て履修できるカリキュラム設定を行う。

十勝会場と道南会場で行う。

3)OJT研修の実施

室内講義や実習で習得した内容を実践するためのOJTを実施する。



事業スケジュール

事業スケジュール

昨年、一昨年の講座の反省点を踏まえながら、よりよい研修にするよう講師陣の意見も取り入れて、カリキュラムの詳細を再検討した。会場となる場所の下見と関係者との打ち合わせを綿密に行い、その地域の特徴を活用した研修プログラムづくりを行った。

6月上～下旬	講師陣と打合せ、研修日程、会場等決定
7月9日	受講生募集の広報開始
7月31日	応募締切・選定
7月中旬～8月中旬	第1回講座関係団体と打合せ、OJT受入れ団体との調整
8月26日-27日	第1回十勝会場講座
9月2日-3日	第1回道南会場講座
9月上旬～10月中旬	第2回講座関係団体・講師と打合せ、OJT受入れ団体との調整
9月23日	OJT第1回目実施
10月21日-22日	第2回十勝会場講座
10月28日-29日	第2回道南会場講座
11月17日	OJT最終回実施



プログラムの作成

プログラム作成

テキスト「木育達人入門」に基づき、プログラムはテキストの章立てに合わせ、第1章から第6章の内容を2日間×2回の全4日間と、OJTを一回以上受講することとした。当プログラムは、体験学習法を取り入れ、①まずはやってみる、②なぜそうなのかを考える、③次にどうするかを考えるという学びの循環過程を意識した。

昨年度研修のアンケート結果などを踏まえ、よりわかりやすく実践的なカリキュラムになるよう、講師の追加や内容の検討を行い、プログラムを作成した。

研修日程の設定

野外でも活動しやすい、夏・秋の季節に研修を行うこととし、日程を設定した。平日勤務の方も土日勤務の方も参加しやすいよう、日曜・月曜の研修とした。

十勝

◆第1回目 2012/8/26（日）～27（月）

【8/26】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:30		開会式				上士幌町 糠平温泉 文化ホール
10:00～ 12:30	1章	木育の理念	煙山 泰子	木育が生まれた背景と 現在の位置づけ	2.5H	
12:30		昼食				
13:30～ 15:00	5章1	木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～	宮本 英樹	体験から概念へと つなげていく学習法	1.5H	
15:00～ 17:00	4章	木と生きる ～人の成長と木の関係～	上田 融	子供の発達の特性と 過程、人を癒す木の働き	2H	

【8/27】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:00～ 11:30	2章	木とふれあい、木に学ぶ	河田 充	森林の定義、 北海道の森林の特徴	2.5H	上士幌町 糠平温泉 文化ホール
11:30		昼食				
12:30～ 13:30	2章	木とふれあい、木に学ぶ	上島 信彦	木材の構造と性質	1H	
13:30		幕別町へ移動				オムニス林 産協同組合 ・ 幕別町百年 記念ホール
15:00～ 17:45	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	上島 信彦	林業・木材産業の今	3H	

◆第2回目 2012/10/21（日）～22（月）

【10/21】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
13:00～ 14:00	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	米山 有年	生活の中の木	1H	大樹町 インカルシ ペ白樺
14:00～ 15:30	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	有岡 繁	生活の中の木	1.5H	
15:30～ 17:30	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	西川 栄明	生活の中の木、 木の道具	2H	

【10/22】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:00～ 12:00	5章 2-3	木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～	宮本 英樹	伝える技術	3H	大樹町 生涯学習 センター
12:00		昼食				
13:00～ 17:00	6章	木はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～	宮本 英樹	プログラム作りの基礎、 模擬演習	4H	

道南

◆第1回目 2012/9/2（日）～9/3（月）

【9/2】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:30		開会式				七飯町 大沼ふる さとの森 (流山温泉)
10:00～ 12:30	1章	木育の理念	煙山 泰子	木育が生まれた背景と 現在の位置づけ	2.5H	
12:30		昼食				
13:30～ 15:00	5章1	木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～	宮本 英樹	体験から概念へと つなげていく学習法	1.5H	
15:00～ 17:00	4章	木と生きる ～人の成長と木の関係～	戸巻 朋子	子供の発達の特性と 過程、人を癒す木の働き	2H	

【9/3】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:00～ 12:00	2章	木とふれあい、木に学ぶ	三木 昇	森林の定義、 北海道の森林の特徴	3H	七飯町 大沼ふる さとの森 (流山温泉)
12:00		昼食				
13:00～ 14:30	2章	木とふれあい、木に学ぶ	西埜 将世	森づくりの仕事、 木材の構造と性質	1.5H	森町 (株)ハルキ
14:30		森町へ移動				
15:00～ 17:30	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	鈴木 正樹	林業・木材産業の今	2.5H	

◆第2回目 2012/10/28 (日)～29 (月)

【10/28】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
13:00～ 15:00	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	西川 栄明	生活の中の木、 木の道具	2H	七飯町 大沼ふる さとの森 (流山温泉)
15:00～ 17:30	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	鈴木 正樹	木工体験	2.5H	

【10/29】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:00～ 12:00	5章 2-3	木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～	宮本 英樹	伝える技術	3H	七飯町 大沼ふる さとの森 (流山温泉)
12:00		昼食				
13:00～ 17:00	6章	木はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～	宮本 英樹	プログラム作りの基礎、 模擬演習	4H	



現地情報の収集

現地情報の収集は当法人のネットワークのほか、木育ファミリーのネットワークや、昨年・一昨年度研修の受講生である木育マイスターに協力してもらい、行った。十勝会場第1回の研修会場である上士幌町ではNPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンターの河田氏に協力いただき、研修会場や周囲の森について情報を共有し、研修内容についての打合せを行った。十勝会場第2回の研修会場である大樹町では、南十勝長期宿泊体験交流協議会や木育ファミリーの上島氏に協力いただき、研修会場や見学先の工場について、情報共有、下見、打合せを行い、研修内容を決定した。道南会場の研修会場である七飯町ではNPO 法人大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンターや木育マイスター1・2期生に協力いただき、研修会場や周囲の森、見学先の工場について情報共有、下見、打合せ等を行い、研修内容を決定した。

下見の際、現地の自然資源、文化資源、人的資源を把握し、研修会を実施する際の素材の整理と危険要因の有無を確認した。

受講生の募集と選定方法

受講生の募集方法は、広く一般に公募した。北海道新聞へのメディアリリース、北海道と当法人のHPへの掲載、北海道内の木育関係施設への募集チラシの配布を行った。また、「木育ファミリーメーリングリスト」や「わくわく木育通信」など木育関係者に対しての情報提供を行った。定員30名に対して53名の応募があった。そこで定員を40名に増やし、なるべく多くの人が受講できるようにした。



研修会の実施

十勝会場:第1回目 平成24年8月26日 8月27日

:第2回目 平成24年10月21日 10月22日

◆第1回目 2012/8/26(日)～27(月) 受講者数:20名

1日目(8/26) 上士幌町 糠平温泉文化ホール

9:30 開会式

10:00 木育の理念(KEM工房 煙山泰子)

木育の理念を理解することを目的に、木育や木育マイスターの目指すものや木育事例を紹介した。アイスブレイクを兼ねて、参加者が各自の木の思い出の品について発表し、自分と木のつながりを再認識した。木で作られた様々な道具・おもちゃや、「木育の玉手箱」を使い、五感の重要性を体験し、木育のイメージを広げた。



13:30 体験学習の理解

(NPO 法人ねおす 宮本英樹)

森林と木材がメビウスの輪のようにになっていることや、木育マイスターはそれらをつなぐ役割をすることを確認した。また、体験を通して概念を理解する教育手法を学ぶことを目的に、糠平温泉文化ホール周辺のトドマツを活用して、体験学習法のアクティビティを体験した。



15:00 木と生きる～人の成長と木の関係～

(NPO 法人ねおす 上田融)

「子どもの発達の特徴と過程」を理解するため、子どもたちが刺激にあふれた自然の中で感覚的な刺激を受けることの大切さについての話があった。上田講師が実施している、自然体験活動の導入部分を実演することにより、子ども達が不安なく森の中に入っていける雰囲気作りを体感した。



17:00 終了

2日目(8/27) 上士幌町糠平温泉文化ホール、幕別町オムニス林産協同組合、幕別町百年記念ホール

9:00 木とふれあい木に学ぶ (NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター 河田充)

森林に関する基礎的知識を身につけるために、会場近くの森で樹木観察を行い様々な樹種の特徴や、森の成り立ち、場所による森・樹木の違いなどについて学んだ。実際に森の中で五感を使いながらの講義を受けることで、受講生の理解もより深まった。



11:30 昼食

12:30 木とふれあい、木に学ぶ

(キタヂカラ木材店 上島信彦)

木材の構造と性質を学ぶ事を目的に、体験学習をまじえた講義を受けた。木の導管や、二酸化炭素の含有率などの木の構造のことや、材が乾く時の伸縮率の違いにより反り・割れが起こってくることなどの、木の性質のことについて学んだ。



13:00 木と生きる～暮らしと産業～

(キタヂカラ木材店 上島信彦)

森の木が木材になる過程を理解するために、オムニス林産協同組合を見学した。カラマツ材の有効活用に取り組み、高次加工システムラインにより効率よく製材できる現場を見学することで、現在の林業や、製材現場の現状について学ぶ事ができた。



17:30 終了

◆第2回目 2012/10/21（日）～22（月） 受講者数：20名

1日目（10/21）大樹町 インカルシペ白樺

13:00 木と生きる～暮らしと産業～

（インカルシペ白樺オーナー 米山有年）

地域ごとに、その地域に合った木に関わる暮らしと産業がある事を学ぶため、大樹町でシラカバ林を購入し、シラカバとともに暮らしている米山氏の講義を受けた。インカルシペ設立の経緯や、シラカバ樹液の活用について話を聞き、木に関わる産業の可能性、広がりを感じた。



14:00 木と生きる～暮らしと産業～

（大樹町 有岡繁）

木の特性と、人間の生活と木の関わりを確認するため、実際に木材に触れながら、薪割りと火おこしの体験学習を行った。木によって、割りやすさや燃えやすさに違いがあり、そういった木の特性を知って、活用していくことが大事だと身をもって学んだ。



15:30 木と生きる～暮らしと産業～

（ノンフィクションライター 西川栄明）

木材製品の歴史や特徴について理解することを目的に、木の道具、木の文化や習慣などの歴史的背景についてスライドを見ながら学んだ。木の道具の実物や木材見本などを展示し、それらに実際に触れることで、より実感を伴った学びとなった。



17:30 終了

2日目（10/31）大樹町生涯学習センター

9:00 木はつながりのキーワード～プログラムの 伝え方～（NPO 法人ねおす 宮本英樹）

より効果的な伝え方や指導法を身に着けるために、植物のタネを使ったプログラムを参加者が体験することにより、「伝授型」「双方向」「参加型」といった伝える手法があることを学んだ。また、受講生一人一人のOJTの体験を全体で共有し、共通する重要なキーワードに着目したことで、個人の体験を踏まえた学びの促進ができた。



13:00 木はつながりのキーワード～プログラムの 作り方～（NPO 法人ねおす 宮本英樹）

木育プログラムを作成できるようになることを目的に、木育プログラムを構成する活動とその構成に関する知識、企画づくりの基礎（資源調査、対象者分析、コンセプトづくり）を学んだ。その後、受講生自身が現在行っている活動等に関連して、取り組みたいテーマを提案してもらい、そのテーマについてグループワークにより5つのプログラムの企画・発表をした。最後は各自の「木育宣言」をひとりひとりが読み上げ、全4日間の研修のまとめとした。



17:00 終了

道南会場:第1回目 平成24年9月2日 9月3日

:第2回目 平成24年10月28日 10月29日

◆第1回目 2012/9/2(日)～3(月) 受講者数:20名

1日目(9/2)七飯町大沼ふるさとの森(流山温泉)

9:30 開会式

10:00 木育の理念(KEM工房 煙山泰子)

木育の理念を理解することを目的に、木育や木育マスターの目指すものや木育事例を紹介した。木で作られた様々な道具・おもちゃや、「木育の玉手箱」、道南杉の板を使い、木材の特徴の違いや五感の重要性を体験し、木育のイメージを広げた。



13:30 体験学習の理解

(NPO 法人ねおす 宮本英樹)

木育マスターになるにあたり、自分の強み、興味の対象を再確認するため、グループワークを行った。また、各自が考える理想の木育マスター像を発表し、それをグループごとにまとめ、木育マスターとはどのような存在なのかという事を再認識することで、これからの研修の目的を確認できた。



15:00 木と生きる～人の成長と木の関係～

(木育マスター2期生 戸巻朋子)

「子どもの発達の特徴と過程」と「木育の感性と人を癒す木の働き」を理解するために、認定こども園どんぐりの取り組みについて話を聞いた。実際に活動する際に、子ども達が自ら気付いて感動できる場を作るために戸巻講師が心がけていることなどを聞き、普段子どもと接することのない受講生も、今後木育活動をする上で参考となる講義となった。



17:00 終了

2日目(9/3) 七飯町大沼ふるさとの森(流山温泉)、森町(株)ハルキ

9:00 木とふれあい木に学ぶ

(北ノ森自然伝習所 三木昇)

木、森に関する基礎的な知識を身につけるため、会場周辺の森で樹木観察を行った。道南の森の特徴や成り立ちを聞き、様々な樹種の特徴を受講生が五感で感じることで、学びを深くした。実際に木育マイスターとして活動する際の注意点・心得を、受講生がイメージしながらの学びとなった。



12:00 昼食

13:00 木とふれあい、木に学ぶ

(木育マイスター1期生 西埜将世)

森づくりの仕事、現場について学ぶため、伐採体験を行った。西埜講師が森づくりをしている森で、この森を最終的にどうするかをイメージして、受講生自身が間伐する木を選定した。のこぎりとチェーンソーを使っての伐採体験を行い、昔の林業の大変さも体感した。



15:00 木と生きる～暮らしと産業～

(木育マイスター1期生 鈴木正樹)

森の木が木材になる過程を理解するために、(株)ハルキで製材現場を見学した。スギを含む、道内産の針葉樹の製材、輸入材・国産材のプレカットを行っている(株)ハルキの工場を見学し、事業形態を聞き、林業の現状を学んだ。また、前講義で伐採した木を製材してもらい、森から切り出された木が材木になる流れを実体験として学ぶことができた。



17:30 終了

◆第2回目 2012/10/28（日）～29（月） 受講者数：19名

1日目（10/28）七飯町大沼ふるさとの森(流山温泉)

13:00 木と生きる～暮らしと産業～

（ノンフィクションライター 西川栄明）

木材製品の歴史や特徴について理解することを目的に、木の道具、木の文化や習慣などの歴史的背景についてスライドを見ながら学んだ。木の道具の実物や木材見本などを展示し、それらに実際に触れることで、より実感を伴った学びとなった。



15:00 木と生きる～暮らしと産業～

（木育マイスター1期生 鈴木正樹）

実際に木に触れて、木のものづくりを体感するため、前回の研修で伐採したカラマツ材を使って、受講生全員で一つの机を制作した。自分達で伐採して製材現場も見学した木を使うことで、緑の木育と茶色の木育がつながっていることを体験として学ぶ事ができた。



17:30 終了

2日目（10/29）七飯町大沼ふるさとの森（流山温泉）

9:00 木はつながりのキーワード～プログラムの

伝え方～（NPO 法人ねおす 宮本英樹）

より効果的な伝え方や指導法を身に着けるために、プログラムの伝え方についての講義を行った。「伝授型」「双方向」「参加型」の伝える手法があること、伝える流れ、リズムが大切であることを学んだ。また、受講生一人一人のOJTの体験を全体で共有し、共通する重要なキーワードに着目したことで、個人の体験を踏まえた学びの促進ができた。



13:00 木はつながりのキーワード～プログラムの
作り方～（NPO法人ねおす 宮本英樹）

木育プログラムを作成できるようになることを目的に、木育プログラムを構成する活動とその構成に関する知識を学んだ。企画づくりの基礎（資源調査、対象者分析、コンセプトづくり）を学んだうえで、グループワークにより4つのプログラム企画をした。最後は各自の「木育宣言」や感想をひとりひとりが読み上げ、全4日間の研修のまとめとした。



17:00 終了

OJTの実施

OJTは第1回研修と第2回研修の間に実施することで、その経験を、後半の研修に活かせるようにした。十勝近辺地域、道南地域、道央地域で計19のOJTを実施した。OJT実施に当たっては、受け入れ団体と綿密な調整を行い、研修生の学びに重点を置いたサポートを依頼した。

OJT当日は、プログラムの事前準備や打合せ、振り返りまで参加してもらい、イベントを運営するマネジメント手法や実際のプログラム手法、注意点などを体験的に学んだ。OJT終了後は、研修生に自己評価シートに自分の役割、評価・反省点、感想などを記入してもらうことで、OJTの内容を振り返り、今後の自身の活動に生かせるようにした。

番号	日程	講師	場所	内容	受講人数 (延べ 人数)
	9/23(日)	木育マスター (丹羽)	七飯町 (森の学校)	子ども向けの木工プログラムの運営補助をする	2
	10/8 (月・祝)	木育マスター 1・2期生	七飯町 (大沼ふるさとの森 自然学校)	木育マスター第1・2期生が主宰する木育イベント(木育フェスタ)の企画・運営の補助をする	4
	10/15 (月)	木育マスター (戸巻)	七飯町 (大沼ふるさとの森 自然学校)	幼稚園児を対象とした森林環境教育プログラム(間伐体験など)の運営補助をする	3

番号	日程	講師	場所	内容	受講人数 (延べ 人数)
	10/20 (土)	木育マスター (丹羽)	七飯町 (大沼森林公園)	大沼森林公園の「秋の文化祭」で、子ども向けの木工プログラムの運営補助をする	5
	毎週 月曜日	木育マスター (戸巻)	七飯町 (認定こども園 どんぐり)	幼稚園での、木育保育活動の補助をする	3
	11/5(月)	木育マスター (鈴木(正))	森町 (株式会社ハルキ)	幼稚園児を対象とした工場見学プログラムの補助をする	1
	10/5(金)	ひがし大雪自然 ガイドセンター	上士幌町 (ひがし大雪自然 ガイドセンター)	小学生対象の植樹プログラムの補助を行う	7
	10/6(土)	木育マスター 1・2期生	標津町	木育マスター第1・2期生が主宰する木育イベント(木育フェスタ)の企画・運営の補助をする	1
	10/6(土)	南十勝長期宿泊 体験交流協議会	大樹町	小学生対象の木育プログラムの補助を行う	1
	10/11(木)	煙山	津別町	津別町の小学校で木育プログラムの補助を行う	1
	11/10(土)	木育マスター (萩原)	弟子屈町 (奥春別小学校)	弟子屈町の小学校で親子向け木育プログラムの補助を行う	1
	11/17 (土)	南十勝長期宿泊 体験交流協議会	大樹町	小学生対象の木育プログラムの補助を行う	1
	毎週 水曜日	NPO法人ねおす	苫小牧市(ひかりの 国幼稚園)	苫小牧市内の幼稚園で木育プログラムの運営補助を行う	1
⑭	10/20 (土)	木育マスター 1・2期生	札幌市(旧道庁 赤れんが前)	道庁木の日イベントで木育プログラムの補助をする	2
⑮	毎週火・ 木曜日	NPO法人ねおす	札幌市 (円山動物園)	小学生のアフタースクールで木育プログラムの運営補助をする	3
⑯	10/14 (日)	NPO法人ねおす	札幌市	幼稚園児の親子対象の木育プログラムの運営補助をする	3
⑰	9/30(日)	NPO法人ねおす	東川町	幼稚園児の親子対象の木育プログラムで運営補助をする	3
⑱	10/27 (土)	NPO法人ねおす	東川町	小学生～中学生対象の木育プログラムで補助をする	3
⑲	10/28(日)	木育マスター 1・2期生	東川町	木育マスター第1・2期生が主宰する木育イベント(木育フェスタ)の企画・運営の補助をする	3

①9/23 (日) 10:00~14:00

講師：木育マイスター 丹羽敬介
場所：大沼国際セミナーハウス
参加者：子ども 20名、大人 7名
OJT 受講者：佐久間智江子、丹羽里美
内容：子ども対象のプログラム
(バードコール作り)



②10/8 (月・祝) 9:00~17:00

講師：木育マイスター1期・2期生
場所：大沼ふるさとの森
参加者：子ども・大人 約 300名
OJT 受講者：鍛原博史、菊地敏孝、
佐久間智江子、田中いずみ
内容：子ども～大人対象のプログラム
(道南木育フェスタ)



③10/15 (月) 9:00~12:00

講師：木育マイスター1期・2期生
場所：大沼ふるさとの森
参加者：子ども 24名、大人 9名
OJT 受講者：関原光、藤田朋大、牧野喜代志
内容：幼稚園児対象のプログラム
(間伐体験)



④10/20 (土) 9:00~15:00

講師：木育マイスター 丹羽敬介
場所：大沼国際セミナーハウス
参加者：子ども 15名、大人 10名
OJT 受講者：板垣隆一、佐久間智江子、佐々木渉、
佐藤育美、谷目美香子
内容：幼稚園児対象のプログラム
(秋の文化祭・木工コーナー)



⑤毎週月曜日（9/24、10/1）9：30～11：30

講 師：木育マイスター 戸巻朋子

場 所：認定こども園どんぐり

参 加 者：子ども24名、大人4名

0JT 受 講 者：秋田広樹、板垣隆一、田中いずみ

内 容：幼稚園児対象のプログラム
（木育保育活動）



⑥11/5（月）10：00～11：30

講 師：木育マイスター 鈴木正樹

場 所：株式会社ハルキ

参 加 者：子ども44名、大人10名

0JT 受 講 者：関原光

内 容：幼稚園児対象のプログラム
（製材工場見学）



⑦10/5（金）8：00～13：00

講 師：NPO法人ひがし大雪自然ガイド
センター 河田充

場 所：糠平温泉文化ホール

参 加 者：子ども28名、大人7名

0JT 受 講 者：小原仁志、小原勇一、菅原庸平、
田中隆伸、千葉養子、戸川久美子、
水野早智

内 容：小学生対象のプログラム（植樹体験）



⑧10/6（土）9：00～15：00

講 師：木育マイスター1期・2期生

場 所：標津町文化ホール

参 加 者：子ども100名、大人30名程度

0JT 受 講 者：秋山恵美子

内 容：子ども～大人対象のプログラム
（道東木育フェスタ）



⑨10/6 (土) 11:00~16:00

講 師：南十勝長期宿泊体験交流協議会
場 所：大樹町ペンケ川
参 加 者：子ども 18 名、大人 9 名
OJT 受 講 者：戸川久美子
内 容：子ども対象のプログラム（森から川までのつながりを感じる）



⑩10/11 (木) 10:00~15:00

講 師：煙山泰子
場 所：津別町 21 世紀の森、加賀谷木材
参 加 者：子ども 66 名
OJT 受 講 者：寺部千絵
内 容：小学生対象のプログラム（木育教室）



⑪11/10 (土) 9:30~11:30

講 師：木育マイスター 萩原寛暢
場 所：弟子屈町奥春別小学校
参 加 者：子ども 16 名、大人 15 名
OJT 受 講 者：石谷成規
内 容：小学生対象のプログラム（木育教室）



⑫11/17 (土) 9:00~16:00

講 師：南十勝長期宿泊体験交流協議会
場 所：インカルシペ白樺
参 加 者：子ども 14 名
OJT 受 講 者：川内和博
内 容：子ども対象のプログラム
（畑仕事、たき火など）



⑬毎週水曜日（10/3）9：30～16：30

講 師：NPO 法人ねおす 山田由美子
場 所：ひかりの国幼稚園
参 加 者：子ども 27 名、大人 9 名
OJT 受 講 者：金澤睦司
内 容：幼稚園児対象のプログラム
（木育教室）



⑭10/20（土）8：30～15：30

講 師：木育マイスター1期・2期生
場 所：旧道庁赤れんが前
参 加 者：子ども 70 名、大人 30 名程度
OJT 受 講 者：石橋哲也、千葉養子
内 容：子ども～大人対象のプログラム
（マイ箸づくり）



⑮毎週火・木曜日（9/25、10/4、11/6）14：00～18：30

講 師：NPO 法人ねおす 高野克也
場 所：円山動物園
参 加 者：子ども 11 名
OJT 受 講 者：五十嵐幸一、金澤睦司、富永まゆみ
内 容：子ども～対象のプログラム
（アフタースクールでの木育
プログラム）



⑯10/14（日）8：30～17：00

講 師：NPO 法人ねおす 高野克也
場 所：旭山記念公園
参 加 者：子ども 9 名、大人 8 名
OJT 受 講 者：桂充子、川岸風太、山田晴康
内 容：未就学児の親子対象のプログラム
（もりのようちえん）



⑰9/30（日）9：30～13：00

講 師：NPO 法人ねおす 木村恵巳

場 所：キトウシ森林公園

参 加 者：子ども 13 名、大人 12 名

0JT 受 講 者：大塚優佳、金田結、高田直紀

内 容：未就学児の親子対象のプログラム
（もりのようちえん）



⑱10/27（土）9：00～17：00

講 師：NPO 法人ねおす 木村恵巳

場 所：キトウシ森林公園

参 加 者：子ども 8 名

0JT 受 講 者：麻生翼、中村修一、松尾悠理

内 容：小学生～中学生対象のプログラム
（どんぐり苗づくりほか）



⑲10/28（日）8：30～17：00

講 師：木育マイスター1期・2期生

場 所：キトウシ森林公園

参 加 者：子ども 100 名、大人 70 名程度

0JT 受 講 者：津郷幸弘、中村修一、山田弥延

内 容：子ども～大人対象のプログラム
（道北木育フェスタ）



まとめ

・受講人数について

平成 24 年度木育マイスター育成研修は、当初 53 名の申し込みがあり、できるだけ多くの方が受講できるよう定員を 40 名に増やしたが、辞退者が 1 名出たため、最終的に全ての研修カリキュラムを終了した人数は 39 名となった。

・会場について

今年度は、十勝・道南の 2 会場で実施した。木育マイスター 1 期・2 期生には十勝・道南の人が少なかったが、今回の研修でこれらの地域にも木育マイスターが誕生する事となる。

・研修時期について

講座は、第 1 回目を夏（8・9 月）、第 2 回目を秋（10 月）に実施した。O J T は昨年同様 1 回目と 2 回目の間（9 月～10 月）に行うことを基本とし、O J T で経験したことを第 2 回目研修で活かせるようにしたことで、第 2 回目研修の際に受講生の理解がより深まったと思われる。

・カリキュラム・スケジュールについて

研修終了後に受講生から取ったアンケートによると、カリキュラムについては概ね満足を得られている。ただ、木育マイスターにとって不可欠な、「森林と木材がメビウスの輪のような関係である」という概念を理解してもらえよう、様々な分野の講義・実習・見学を盛り込んでいるため、一つ一つの分野にかける時間がどうしても短くなり、講義時間が「短かった」と回答した人も多かった。

・今後の木育について

一昨年度から実施されている本研修であるが、一昨年度は 38 名、昨年度は 37 名、今年度は 39 名、合計 114 名の木育マイスターが誕生した。木育マイスター 1・2 期生は、木育マイスターメーリングリスト内で情報交換、意見交換を行うなどして、交流が進んでいる。また、今年度研修の O J T の受入先や、講師となっていたいたり、各人の地域・会社などで木育プログラムを行ったりと、それぞれの地域・立場で活躍中である。

今後、さらに北海道の木育の普及を推進していくためには、3 年間の研修で誕生した木育マイスター同士のネットワークをより強固なものとし、協力しあって木育の普及に取り組んでいくことが必要である。また、木育マイスターのフォローアップも重要であると考えられる。